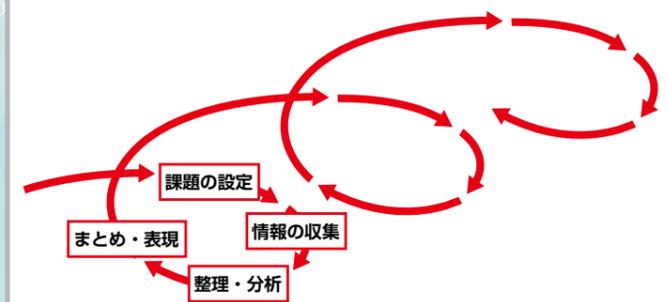


御代田中学校 探究的な学習とは

ある日、御代田中学校の教頭先生から、「生徒が雑巾を100枚手作りし、ハートピアみよたへ寄付するので、写真を撮りに来てもらえないか」と依頼がありました。家庭科の授業でみんなが作ったのかな？とっていると、生徒が一人で作ったというのではないですか！という経緯で雑巾を作ることになったのか。生徒の知りたい、やってみいたいという気持ちを深掘りし、実践までもっていく「探究的な学習」とは何なのかを取材しました。

雑巾を100枚作り上げ、寄付までを一人で実践した、3年生 高橋歌恵良さんの探求について、紹介します。

探究的な学習における生徒の学習の姿



- 日常生活や社会に目を向け、生徒が自ら課題を設定する。
- 探究の過程を経由する。
 - ① 課題の設定
 - ② 情報の収集
 - ③ 整理・分析
 - ④ まとめ・表現
- 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。



100枚完成

毎日コツコツとミシンと向き合い、11月の末に念願の雑巾100枚を縫い上げました。歌恵良さんは、担任の先生はもちろん、校長先生や教頭先生等、さまざまな先生方に喜びと報告してくれました。

また、先生方とどこに贈ろうか探していた時に、地域住民の幸せな暮らしを応援してくれているハートピアみよたの存在を知り、「ハートピアみよた」で製作した雑巾を使ってほしいと思うようになりました。

ハートピアみよたに 電話してみよう

「初めての人に電話をするのって緊張する」「何を話せばよいのだろう」等、歌恵良さんが抱えている疑問点を挙げて、それについて一つひとつ案や予想を考え、12月上旬に電話をしました。



緊張しながらも電話をかけ、雑巾を持って行く日時や持ち物などを確認しました。受話器を置いた後の安堵した表情が印象的でした。

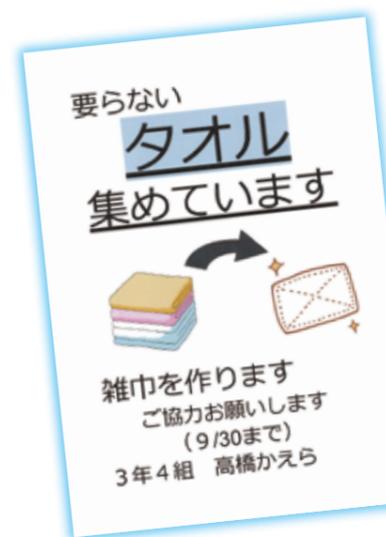
何かできることはないかな

家庭科の時間にミシンを使ってエコバッグを製作しました。この力を用いて何か人の役に立てることはないのかなを一学期末に考え始めました。

担任の先生と相談して「学校でも使う機会がある雑巾をつくらう」ということになり、「目指せ、100枚」という目標を掲げました。同時に「たくさんタオルをどう集めればいいのか」という問題も出てきました。

先生方にお問い合わせしてみよう

一人でタオルを百枚集めることは困難だと気付いた歌恵良さんは、「中学校には40名の先生方がいるので、先生方たちにお問い合わせしてみよう」と考え、チラシを作成し、先生方のレターボックスに入れたり、回収箱を職員室に設置したりしました。



集まったタオルとミシンに 向き合う歌恵良さん



さすが御代田中の先生方です。生徒の思いに添え、日を増すごとにタオルが集まりました。こんな早く集まるなんて」と感動しながら、1カ月もたたないうちにタオルが集まりました。先生方の提案で、タオルを提供してくれた先生方へお礼の手紙を書こうということになり、製作の傍らで書きました。

また、総合的な学習の時間や学習の合間を縫って雑巾製作も始まりました。しかし、できた雑巾をどこで活用してもらおうかという新たな課題も出てきました。

私は今、皆さんと百枚作るプロジェクトを進めている最中ですが、その皆さんを作るために必要なタオルをいかに先生の皆様に向けて私の気持ちを述べたく、この文を書かせてもらいました。正直に言いますが、このタオル集め、そうすぐには集まらないかと思いましたが、なんと今日は、昨日よりも早く集まりました。しかも、このプロジェクト最大の壁でした。が、実際に集めたタオルは、一日でタンポールの、はい、のタオルがありました。その数なんと六十一枚。私がとれた1枚、感動したが、小学生の頃から人と関わる事が好きで、先生にチラシを配った時とよく勇気を出した行動でした。すこし怖かったです。優しく話を聞いてくれる先生が、はい、と、安心しました。六十一枚ものタオルを集めてくださり、深く感謝いたします。本当にありがとうございます。三年 四組 高橋 歌恵良より

そして300...

「〇〇って聞かれたら△△って答えよう」と緊張した面持ちで想定される質問をいくつも考えながらハートピアみよたへ移動しました。その中で「生懸命作ったので役立ててほしい」という



思いを伝えたいという気持ちをもって贈呈式に臨みました。製作にあたっていくつか質問がされた後、贈呈式となり、式では、中学生1人でしたが堂々と雑巾を贈呈することができました。帰路で、「理事長さんが『これは雑巾だけれども私たちがとっては宝物です』と言われたのが嬉しかった」と語ってくれました。

御代田中のこれから

御代田中学校の探究のパイオニアとしての歌恵良さんの学びの姿は、総合的な学習の時間に限らず、資質・能力の育成に当たっては、どの教科等においても大切にしたいと考えている姿そのものです。どの教科でも、探究する授業を、取り組んでいきたいと思えます。御代田中の探究への挑戦をこれからさらに広げていきます。

本人インタビュー

私はもともと物を作ることが好きで、好きなことをしてそれが人のためになったら嬉しいなと思いついて、先生方と相談しながら今回のプロジェクトを考えました。

大変だったことで印象に残っているのは、ハートピアみよたに電話をしたときです。私は人と話すことがあまり得意ではなく、電話もとても緊張して、言葉遣いが少し変になってしまいました。それでも電話が終わったあとはたくさん先生方に褒めていただき、安心したことを覚えておきます。

先生方のさまざまなサポートがなければ、最後までやりきることはできませんでした。本当にありがとうございます。

この3カ月間で、好きなことだけでなく苦手なことにも挑戦をし、なにより自分の力でプロジェクトをやり遂げたことは、大きな達成感と成長につながりました。

今回の経験を、今後の生活に生かしていければと思います。